

2014年9月3日
mail ニュース

No.20・通巻 321

おきプロ NEXT 特集

自治労連

都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 高柳 京子
TEL 03-5381-0250

憲法学習会&都庁おきプロ NEXT 報告集会

8月27日(水)に都庁職大会議室で、「憲法学習会&都庁おきプロ NEXT 報告集会」をおきプロ NEXT 都庁実行委員会と自治労連都庁職主催で開催し「おきプロ NEXT」参加者をはじめ各支部等から33名がました。

開催時間まで「おきプロ NEXT」で撮影したビデオを鑑賞した後、自治労連都庁職森田副委員長のあいさつで始まりました。

第1部の憲法学習は、「安倍政権が進める集団的自衛権の問題点と今後」をテーマに東京自治労連顧問弁護士の平和元先生から

30分という短い時間でしたが、ポイントを絞った講演を頂きました。平先生は、冒頭、「憲法は国民の人権を尊重するものであり、国民誰もが幸せになるためのもの」であることを強調し、過去の戦争では、“平和や自衛のため”として参戦した歴史を振り返りながら、現在の安倍政権では、日本型 NSC 「国家安全保障会議」で、憲法の三原則を踏みにじり、国民の生活と権利より国益を優先する政治を展開する危険な動きを説きました。その上で、日本国憲法の素晴らしさを広く知らしめて守っていくことの重要性と参加した多くの青年へ平和の担い手としてエールを送りました。



司会を務めた港湾支部の野村さん・今村さん



病院支部・山本さん

第2部のおきプロ NEXT の報告は、まず、司会者の港湾支部の今村さんより、6月13日から15日に沖縄県で開催され、全国1533名、うち東京から153名、都庁から34名の参加で成功した全体概要として、1日目の嘉手納基地と避難豪となったガマ体験、開会集会、2日目の9つ選択コース、稲嶺名護市長の記念講演があった閉会集会、3日目の東京参加者の3つの選択コースなどの

日程概要の説明からはじまりました。

次に、参加した青年が中心になってまとめた現地報告の発表と



経済支部の小船さん

なりました。具体的には、9つの選択コースを「食・歴史・自然」「平和」「基地」の3つの分野に分けて、自身が参加したそれぞれのコースのパワーポイントでまとめあげたものです。

「食・歴史・自然」グループは、港湾支部の野村さん・病院支部山本さん・経済支部小船さんからの発表で、サトウキビ収穫体験から沖縄の食文化を学んだこと、琉球王朝から近隣諸国と友好関係を持ってきた歴史、沖縄が世界に誇れる自然の宝庫であることなどの報告がありました。



経済支部の西村さん

「歴史」グループは、経済支部の西村さんが報告し、第二次世界対戦から唯一の地上戦で兵隊より住民の死者が多かった悲惨な過去をまとめて、最後に私たちは平和をどの様に捉えれば良いのでしょうか？とみんなに問いかけて報告を閉じました。



教育庁支部の安達さん・宝田さん



「基地」グループでは、衛生局支部の佐久間さんをはじめ3名が報告し、沖縄の基地の現状と普天間基地問題と辺野古移設問題を整理して、名護市広報課長の講演で、住民の幸せを第一に自治体労働者として奮闘していること。11月の沖

縄県知事選が基地問題のカギを握っていることを訴えました。



衛生局支部の佐久間さん

今回の発表資料の作成では、多くの参加者が関わり、青年同士が自主的に打合せやメールで資料を交換したりと活発なやりとりがあり、参加者同士の交流や問題意識を深めることができました。

最後に、10月11日の沖縄高江のヘリパット建設反対をテーマにした映画「標的の村」の鑑賞会までに、報告書をみんなで作成することを

確認した後、衛生局支部の竹川実行委員長から、今回

の憲法学習やおきプロで学んだことをこれからの運動の糧にしていきたいという閉会挨拶で会を閉じました。

おきプロ NEXT 都庁編報告書

完成披露&映画鑑賞会（標的の村）

日時 10月11日（土）14時から

会場 日比谷図書館文化館 会費 1000円



閉会あいさつをする竹川実行委員長